



# P R E S S R E L E A S E

## 「健康経営優良法人 2026」に認定

2026年3月27日

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、2025 年度に実施した健康経営への取り組みが評価され、経済産業省および日本健康会議により、昨年に続き「健康経営優良法人 2026(大規模法人部門)」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度は、特に優良な健康経営を実践している法人を、日本健康会議が認定する顕彰制度です。

### ■2025 年度の主な取り組みと成果

2025 年度、MFTBC は以下のような取り組みにより、組織全体での健康経営をさらに強化しました。

#### -ヘルスプロモーションアンバサダー(HPA)活動の深化

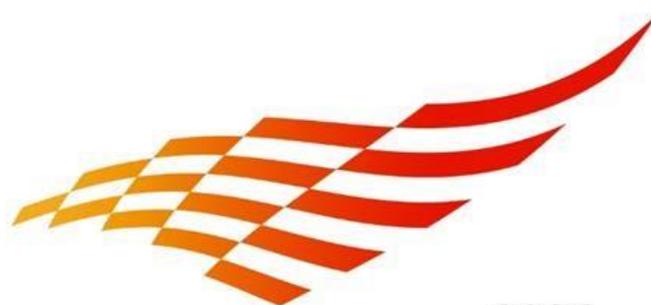
各部門に配置された HPA へ、月次で健康情報を共有し、健康教育セッションを実施。部門での健康推進活動が定着し、健康テーマイベントの参加者が前年比で大幅に増加しました。

#### -疾病予防・健康増進施策の継続的な展開

- ・健康、睡眠、運動、栄養に関する教育・研修を年間を通じて実施しました。
- ・食事・運動イベントを年に複数回開催し、参加率は前年を上回る結果となりました。
- ・「SAS(Sleep Apnea Syndrome: 睡眠時無呼吸症候群)サーベイ」などデータに基づく健康支援施策の導入を拡大しました。

「当社が健康経営優良法人として2年連続で認定されたことは大変光栄であり、これまで積み重ねてきた取り組みへの評価であると受け止めます。健康経営は、会社が社員と共に進めていくものです。健康であることが、仕事への前向きな姿勢や生産性の向上につながり、結果として企業の持続的な成長を支えます。こうした取り組みが各職場で自然と根付き、『当たり前』として受け入れられることを願います。」(三菱ふそうトラック・バス株式会社 人事本部長 河地レナ)

三菱ふそうトラック・バス株式会社



2026

健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

大規模法人部門

「健康経営優良法人 2026(大規模法人部門)」の認定ロゴマーク

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が 89.29%、三菱グループ各社が 10.71%の株式を保有しています。90 年以上の歴史を持つ FUSO ブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約 170 の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初の SAE レベル 2 相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

三菱ふそうトラック・バス株式会社